

海草場、サンゴ生態系、干潟など、沿岸域生態系に合わせた環境を保全

設計・解析技術

海洋工事技術

ICT

リニューアル技術

水域環境技術

河川・湖沼工事実績

お客様のメリット

- 藻場、干潟、サンゴ生態系など、海域の生態系に合わせた環境保全を行うことができます。
- 現地実験による実証データを踏まえ、地域の環境に合わせた適用方法を提案をします。
- 自然の再生力を利用し、現存する環境へのダメージを極力低減した工法により持続可能な環境保全を目指します。

技術の特徴

アマモ場造成技術

アマモの種子採取・播種が不要なアマモ場造成技術です。天然のアマモ場に生分解性のマットを設置し、マット上にアマモ種子が自然に落下・発芽することによりアマモを定着させ、このマットを移設することで造成する効率的な工法です。またアマモ以外に、種子や地下茎で繁殖するコアマモや亜熱帯性の海草にも応用できます。



アマモが定着したマット



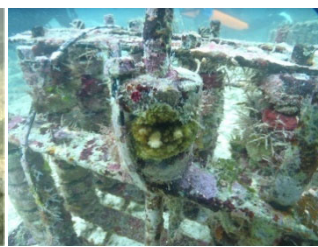
2年後のマット

サンゴ移植技術

サンゴの生態を利用した移植法（有性・無性生殖法）です。無性生殖法は、サンゴの群体や断片を、安定した基盤に固定し増殖を図ります。有性生殖法は、放卵・孵化したサンゴ幼生を基盤に着生させ、稚サンゴに成長した後、基盤を移設する方法で、自然放卵した卵を利用するため、多様性の高いサンゴ群落の形成が期待できます。



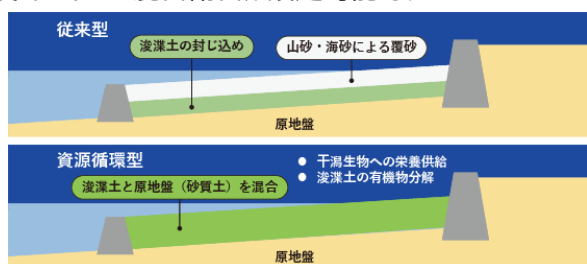
無性生殖法によるサンゴの増殖



有性生殖法によるサンゴの着生

干潟造成技術

不要物として処分される浚渫ヘドロを干潟生物の栄養分（有機物）として有効利用した干潟造成技術です。浚渫ヘドロと現地盤土を混合し、干潟表土に撒き出すことにより、干潟生物への栄養供給を行います。それぞれの海域で最適な浚渫ヘドロの混合割合が設定可能です。



浚渫ヘドロを利用した干潟造成方法



小規模干潟造成実験



干潟造成事業

社外表彰

平成13年度、平成18年度、平成23年度 土木学会「環境賞」

実績・事例

三重県志摩市英虞湾における干潟・アマモ場再生事業
亜熱帯のリゾート人工島沿岸部の海草移植実験
亜熱帯の離島におけるサンゴ・海草群落の救済・保全プロジェクト



▲プレスリリースはこちら